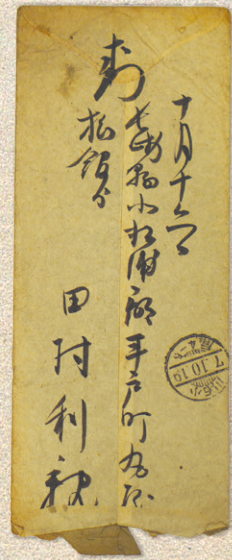


東京市小石川に生る橘の所産也

牧野富太郎

文



牧野富太郎宛書簡 (高知県立牧野植物園蔵)

### 牧野富太郎との交友

同君ハ多年ノ間一身ヲ犠牲ニ供シテ櫛風沐雨、  
雨、廣ク我邦内並ニ我版図内ヲ巡歴シ、  
事ヲ研究セラレタルヲ以テ其方面ノ事ニ関シテハ  
宏汎且深遠ナル智識ヲ蓄ヘラルルコトハ今日恐ラク君ノ右ニ  
出ヅルモノハ我邦ニハ断ジテ無イト公言シテモ決シテ  
溢美デハナイト信ズル

(牧野富太郎による 田村利親評)



田村利親 東京渋谷の自宅にて(個人蔵)

## 田村利親の生涯と仕事 土佐の柑橘

田村利親「1856(安政3)〜1934(昭和9)」は、高知県長岡郡新改村(現香美市土佐山田町新改)の郷土の家に生まれました。農業技術者の途を歩み、果樹、とくに柑橘類の研究に没頭し、当時各地で自生もしくは栽培されていた柑橘類の分布、栽培状況、利用法などを調査、研究しました。方言収集にまで及ぶその調査範囲の広さには驚かされます。さらに商品として有望な品種を見つけると、生家の果樹園に送って栽培し、苗木をつくって全国に広める活動にも取り組みました。調査は台湾にまで及び、その成果は『台湾柑橘図説』(未公刊)として台湾の図書館に所蔵されています。

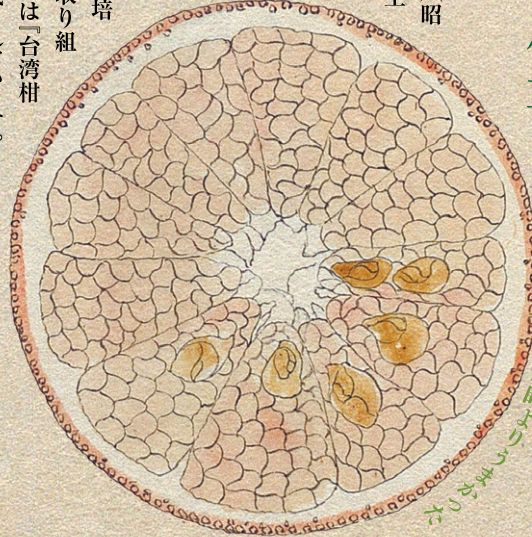
昭和40年代頃まで、田村利親の生家があった地域では、初夏になるといっても、そこらじゅう小夏でいっぱいになったそうです。高知の特産品のひとつ、小夏のはじまりは、田村利親が宮崎県で出会

い、新改村に送った苗木です。小夏の学名 *Citrus tamurana* は、田村利親にちなんでつけられました。

『日本柑橘全誌』。田村利親は、後にこれらの研究の集大成をこの書名で出版しようと計画します。しかし、友人である牧野富太郎の協力を得ても、ついに実現できませんでした。あとには明治10年代から書き溜めた、大量の調査記録や原稿が、田村が描いたと思われる柑橘図とともに残されました。

牧野富太郎からは柑橘研究の第一人者として評価され、後代の学者たちからも尊敬された田村利親の生涯をたどり、未完となった『日本柑橘全誌』が描こうとした世界のいったんを知るこ

とができる企画展です。実物資料のほか、東京大学総合図書館に所蔵されている自筆原稿、柑橘図を、高精細デジタル画像で紹介いたします。また高知県と柑橘との関係に焦点をあて、土佐文旦の由来となる法元文旦・オオタバナに関する資料、橋本神社、常世館蔵、田中長三郎、法元六郎書簡(橋本博好氏蔵)等も展示します。



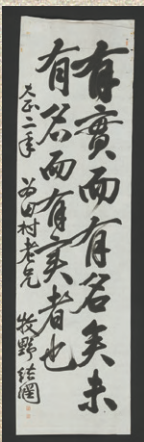
柑橘を描かせたら絵師



小夏蜜柑園。新改村の生家。『世界柑橘叢談』(未公刊)(オーテピア高知図書館蔵)



『日本柑橘品画 第一集』(オーテピア高知図書館蔵) 明治19年、大日本農会三田育種場の出版物。田村利親が所有していたと思われる。



「有実而有名者也」 牧野富太郎から送られた書。(オーテピア高知図書館蔵)



小夏蜜柑園。新改村の生家。(オーテピア高知図書館蔵)

柑橘等の図柄は、東京大学総合図書館蔵「日本柑橘全誌」田村利親【輯】収録の図を一部改変して使用しています。

## 高知市立 自由民権記念館

〒781-8010 高知市棧橋通四丁目14番3号  
TEL.088-831-3336 FAX.088-831-3306  
HP <https://www.i-minken.jp/>

